

# 変

四年

画数 9  
筆順 一 亦 亦 変  
オン ヘン  
フン か 11 える 11 わる

成り立ち



赤がかわった形の「赤」と、下向きの足の形を表した「夂」とを組み合わせた字です。

色は時がたつにつれてあせて行きます。赤い色も白っぽくなり、「ピンク色」になります。「赤」はピンク色を表したと見ることが出来ます。「夂」は「時がたつて行く」意味です。時がたつにつれて「色が変わる」ことを表した字です。「かわる」という意味に使われます。【例】変化、変遷、変動。

「ふつうと変わっている」という意味にも使います。【例】変人、変種。

また、「異常な出来事」の意味に使われます。【例】事変、異変。

使い方

▽季節が移り変わって行くにつれて、周囲の景色も変化します。春は桜が咲き、道ばたの草にも小さな花が咲き出します。夏は緑の色が濃くなります。秋は木の葉が赤や黄色に変わります。そして冬になると木の葉が落ちて、あたり一面銀世界に変化するのです。

▽ぼくは変人奇人が好きです。人と変わったことを言ったりやったりするのは、とてもおもしろいことです。あたりまえの人ではつまりません。こんなぼくも、やはり変わり者なのでしょう。

熟語例

- ▽変化（変わること。違った状態になること。）
- ▽変遷（移り変わること。移り変わり。「時代の交遷とともに、風俗や習慣も変化した」などというふうにつかいます。）
- ▽変動（変化し、動くこと。また、世の中に事件があつて騒がしいことにもつかいます。「地殻の変動に伴つて、地形が変化する」などというふうにつかいます。）
- ▽変人（変わった人）
- ▽事変（異常な出来事。事件）

# 便

四年

画数 9  
筆順 一 亻 亻 伊 便  
オン ベン・ピン  
フン た 11 11 り

成り立ち



「又」と、「イ」とを組み合わせて作った字です。

「又」と、「イ」とを組み合わせて作った字です。テーブルに手をかけることを表した「更」は、「テーブルを新しいものと取りかえる」ことを表していて「新しいものに変える（変更）」の意味の字です。新しいものにかえることは人にとって「都合がよい」ものですから「便」は「都合がよい」という意味を表しました。【例】便利、便宜、不便、便乗、便覧。

「手紙」の意味にも使います。【例】郵便、便り。また、「大便」「小便」という使い方もあります。

使い方

- ▽むかしにくらべて、今の生活は大変便利になりました。旅をするにも、むかしは歩いたり、せいぜい馬に乗ったりする位で、とても不便なものでしたが、今は新幹線が走っている時代です。何ととっても、現代に生まれたわたしたちは幸いです。
- ▽北海道にひっこして行った友だちに手紙を書きました。「便りをちょうだいね」と、友だちが言ったからです。きつと返事が来ると思うので、毎日、郵便受けのぞいています。

熟語例

- ▽便利（都合がよいこと。また、役に立つことの意味にもつかいます。「この七つ道具は、とても便利だ」などというふうにつかいます。）
- ▽便宜（都合のよいこと。「相手の便宜を図ってやる」などというふうにつかいます。）
- ▽不便（都合が悪いこと。）
- ▽便乗（ついでに車などに乗せてもらうこと。また、機会にうまく乗ずること。「便乗値上げ」などというふうにつかいます。）